

家庭教育力の強化を図ろう

～ みんなで作り上げる蒲西学区体育祭 ～

蒲郡市立蒲郡西部小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、蒲郡市役所の北北東約 1.5km にある、全校児童 59 名の小規模校である。令和 5 年に開校 150 周年を迎えた。校区に J A 蒲郡市総合集出荷場があり、みかん畑が広がるみかん栽培の盛んな地にある。約 50 年前に校内にみかん園を設け、以来、児童がみかんの世話を続けている。

令和 8 年度をもって、近年の児童数減少に伴い閉校する。隣接する蒲郡北部小の地で 2 校が統合し、新たな名前の学校が誕生することが決まっている。

2 研究のねらい

近年、核家族化が進み、子どもたちが高齢者をはじめとした地域の人々と接する時間は減りつつある。共働きの家庭が多く、児童クラブに通っている児童の割合は市内でも高い方である。しかし、地域的なつながりは深いことから、地域で子どもたちを育てていこうという意識は強い。そこで、子どもたちの健やかな成長を支援するため、地域の力を借りて家庭の教育力をより一層高めていこうと考え、本研究に取り組むことにした。

3 研究の仮説

地域や P T A が行う行事や活動への参加を働きかけることで、地域と家庭と学校の結びつきが深まるとともに家庭の教育力を高め、子どもたちの健やかな成長を支援することができるだろう。

4 研究の方法

公民館とともに、子どもたちと P T A 、地域や学校が関わる行事を設定し、積極的に参加を促す。互いに積極的に広報活動を行い、その成果を広める。 P T A 運営委員会や公民館運営審議会での意見交換、本校児童や本校出身の中学生、教師の振り返りなどから、その効果を検証する。

5 研究の実践

(1) 地域最大の行事の企画・運営に携わる

蒲西学区体育祭は、この地域最大の行事である。午前中に小学校の運動会が行われた会場をそのまま使用して、その日の午後に開催されている。公民館と小学校が協力してプログラムを作り、



準備や片付け、競技への参加などを行っている。消防団や老人クラブ、子ども会や交通安全西部地区推進協議会など、地域の様々な団体が競技の指揮を執る。発祥は定かではないが、30 年以上は続いていると思われる。毎年、準備会から P T A をはじめ、多くの団体が関わり、幾度も企画の調整が行われ、綿密な計画のもとに運営している。

(2) ふれあい活動として卒業生と PTA が協力

蒲西学区体育祭は、地域のふれあい活動として位置づけられている。蒲郡西部小を卒業した中学生が、様々な係に分かれ、PTA などの大人と協力し運営の一端を担ったり、競技に参加したりしている。右の枠内は、器具係として活躍した中学生の言葉である。

中学生は毎年参加し、小学生や PTA、地域の方々と盛んに交流している。中学生は競技にも参加し、場を大いに盛り上げるとともに、小学生にも目標となるべき姿を見せている。PTA は、競技に参加するとともに、出場者の調整や各係の責任者として中学生を支援している。

(3) 交通少年団員として小学生の参加

蒲西学区体育祭は、保育園児から高齢者まで、さまざまな年齢層の方が、複数参加できるように競技が構成されている。

その中に、6年生が組織する交通少年団が出場する借り物競走がある。探されるのは、地域の交通安全を担う交通安全地区推進協議会の会長（右の写真）や、小学校の交通安全担当教諭、小学校の PTA 会長や交通安全グッズなどである。中学生が探してきた人や物について、放送で紹介するようにしている。

競技に使う道具を準備するたびに、地域の方が、「ありがとう」「助かったよ」などと、温かい言葉をかけてくださいました。地域の温かみを改めて実感しました。



6 研究の考察

蒲西学区体育祭という地域最大の行事に、PTA や児童・生徒、教職員が継続的にかかわることで、地域の一体感が生まれている。

右の枠内の中学生の感想から分かるように、地域の様々な人々が継続的にかかわることで、子どもたちはそれぞれの成長や、たくさんの人や物に支えられて生活していることを実感している。PTA も行事に子どもたちとともに参加することで、地域とつながり身近な人から子育てを学んだり、助け合ったりすることにつながっている。

私が小学生の時、中学生のお兄さんやお姉さんは、みんな優しくて私もこんなふうになりたいと思っていました。それと同時に、中学生の先輩は怖い存在ではなく、頼れる存在だと感じていました。

私も中学生になり、今度は私たちがふれあい活動でお手伝いする側になりました。かつてのお兄さんやお姉さんのように、小学生の子に笑顔で接することを意識しました。（中略）中学生のお姉さんとして地域の運動会に参加するのは今年が最後でした。ですが、かかりをこれからも絶やさないようにこれからも地域の運動会に参加しようと思います。

7 成果と今後の課題

蒲郡西部小学校の学区は、人口も少なく、多くの人が顔見知りである。それだけに地域で子どもたちを育てていこうという意識は強い。三世代交流グラウンドゴルフ大会という行事もある。これらの交流は、自分の子どもだけでなく、地域の子どもたちの成長を実感する場になり、家庭の教育力を高めることにつながってきた。

しかし、来年度の閉校後は、小学校としての一体的な協力が困難になるため、いずれの行事も継続には工夫が必要と考えられる。

